

バストス週報

第三百卅九号
昭和卅一年
十月七日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112

BASTOS
C. D.
JANO
1957 J1
1000-

兵隊の位

バストスを尉佐将で計る

山下清 君

今日本のジャーナリズムで取上げられ一寸としたスームを作っている山下清といふ三十四方になる放浪画家がある。彼はソートミソが普通人よりやや軽い為め、智能の廻転がデバカで、相手の人物の×ジーンズを必ず、兵隊の位で計って、自分より上か、下かを判断するやうである。たとへば天皇陛下に繪をかかすと、どの程度かな、上等兵やいかなど、たエ合である。彼の作品は今迄の画家が手をつけていない全く、処女地を開拓したものである。なまじっか、教養常識ある画家のよく成し得ない味を出している。

モレ、後りにその山下画伯が来伯してバストスにやっ来て来たう、どんな觀察をするだろうか、と考へて見たら思わす、バストスとなつた。よし、つれて来よう、わが山下清君はバストスのお歴々に、どんな位をけるだろう。洗脳(ゴロニスト)のセン、ウ(カレない)の、一とさ、は、さ、を、さ、つ、ふ、り、と、し、こ、よ、ま、し、も、の、で、あ、ろ、う、と。

俳人と政治家

○「遠方の処よくや、つて来たね、早速に御紹介しよう、バストス商業事務所、浦記南子さんだ、俳人だし、機智に、けては、ハワリス、タ、随一の羽織ゴロだ、山下清、蠅(ジ)ンというの、何を、する人、あ、あ、あ、この家の帳面、つ、けて、や、る、商、売、だ、ね、あ、ん、た、エ、ラ、イ、ン、だ、ろ、じ、や、兵、隊、の、位、に、な、お、す、と、ど、の、く、ら、い、や、し、そ、う、さ、お、エ、ソ、ロ、バ、ン、屋、だ、か、ら、主、計、大、尉、かな、し、

○「山下、つ、そ、う、と、う、な、も、ん、だ、す、月、給、い、く、ら、い、失、礼、し、ち、や、う、な、も、ん、な、事、さ、く、な、よ、バ、ス、ト、ス、に、俳、人、ほ、か、に、沃、山、い、る、が、皆、念、腹、門、下、だ、し、

○「何、だ、い、の、ネ、ン、ス、ク、モ、ン、カ、と、い、う、の、は、い、ふ、ん、先、生、な、ん、だ、ね、兵、隊、の、位、に、な、お、す、と、大、将、だ、ね、

○「いや、念腹さんの先生が日本にあるんだ、キョシといつて君の名と同じだ、この、が、た、が、大、将、だ、ろ、う、ね、

○「山下、つ、す、る、と、ネ、ン、ス、ク、さ、ん、は、少、将、ぐ、ら、い、だ、ね、

Alfauataria Imperial
J. Maruyama



若紳士向きの夏服

丸山洋服店

Wakamoto 七かせ



太陽の季節
若さのセリ場がない
そ、う、い、う、健、康、は、い、

胃腸の
よ、わ、る、と、き

わ、か、も、と、で
健、康、を、手、り、ま、し、よ、う

東京わかもと製薬株式会社
社長 中久保 益太郎

○「でも念腹さんはバストス人ではない、まア紀南子程度がバストスには多いんだ、佐官級はひとりも居らんよ、

○「ハイ、クで食ってらんか、ね、

○「とんでもない、ハイ、クでは食えんよ、山下、つ、で、は、菓、子、つ、下、さ、し、も、お、と、ろ、ね、

○「や、り、れ、た、こ、ん、ど、は、ベ、レ、ア、ド、ル、を、訪、問、し、よ、う、皆、日、系、の、方、だ、よ、こ、ち、う、が、う、西、さ、ん、若、日、さ、ん、太、郎、田、さ、ん、座、落、味、さ、ん、小、林、さ、ん、(池、田、さ、ん、旅、行、中)、

○「山下、つ、べ、レ、ア、ド、ル、で、な、に、す、る、ひ、と、い、ん、だ、日、本、人、レ、バ、い、の、日、本、人、に、よ、く、似、と、る、が、な、ア、日、本、語、し、ゃ、べ、れ、な、い、の、こ、

○「両親は勿論日本人だ、を、か、り、民、族、的、

SALPATARIA HAYAKAWA

早川靴店



全貌をあらわしたブーツのモデル嬢
 一寸顔も画いてもいいましたの
 だけと靴を見て頂戴ね

裁縫

早川靴店

○には日本人だが、この国籍がある
 人だ。だからスラシル人としてこの国
 の政治上進出できるんだ。をく/こ
 ういう人の中からスラシル人も出るし
 都合によれば大統領が生まれるとも限ら
 ないんだ。

山下「清「えっ、い人だおエ、大統領と
 いうと兵隊の位になおすと大元帥であ
 る。天皇陛下だ。じやア、この人たちが皆
 大元帥かい。」
 ○「いやまだ、そんなにはエラアはない、
 まだ政界幼稚園だ。この道は大統領に
 進歩するとい。た意味さ。」

山下「そんな意味、意味ないね、これは大
 将だね。」
 ○「うん、いや、それ程でもないト
 山下「じやとの位？」
 ○「さういひね、君カンベンしてくれよ
 上等兵とか軍曹とかいってたら、ベレアド
 ルさん悲観しちゃいます。困った
 ね。ちやとて少将ともしえんし。」
 山下「困ることないよ。それ父のいうち
 のないのに少将だなどと、おせい言っ
 た。失礼になるだよ。あお判った、見習
 士官だね。」

○「わア助った、信どいい処へ市末が来
 られた。市長さんに紹介しよう。」
 山下「ああ、此の有名な市長だ。はて
 ツマツッ、ゆり日本人だね。日本語であ
 さいして、もい、かね。」

○「ああ、いいとも、日本語はうまいんだ。
 市長さん、ここに生れながら、立派な日系伯
 人だ。何しろスラシル中に何百何千と
 ある部制の中で最初の日系市長さんを
 そういふ意味でバスター、全伯一さん。」
 山下「じやア、さういふ意味で兵隊の位に
 なおすと大將だろ。」
 ○「さう切、二まれて困るが、さうい
 う意味という肩書があるんだ。」
 山下「じやア、准將かな代將かな、張出し
 大將なんていうのはこの國にもない
 だらうな。」

○「学校は敬遠して日本人会へ
 山下「学校は敬遠しよう、校長さん日本
 人かい。」
 ○「日本人では敬壇に立てないんだ、中
 学校はフレコというエライ借借さん、
 小学校もエライ女史校長だ。兵隊の位
 になおすと。」

山下「いや、なかさんでもええ、坊さま
 なら從軍僧で日本なら軍曹だ。女は教
 世軍でも大佐級はめ、たに店らん相
 方が悪難だ。まア後りに大將と、いッどく
 出そう。」

山下「学校へけ寄らんのかね。」

○「うん、大將がるすウーいんでね、ヤア
 来た来た、あれが本田總務さん、一す
 山下「この人何するの？」 エ、さあ、前
 売、さうしてエライ？」
 ○「さうい、君エライさ、ベン、をッに、かけて
 は全伯一だ。」
 山下「日本の徳川さん見た、い人だね。
 兵隊の位になおすと、どのくらい？」
 ○「僕は中將級をと思つとる。」
 山下「たう、徳川さんでも自分では大佐く
 らいだと思つて、いるんだ。」
 ○「さうかね、では、もう少し下ゆるよ、大佐
 かね。」
 山下「どうかな、徳川さんと同階級では、
 本人も窮乏だ。尉官の方が気が楽じ
 やないかな。」
 ○「イヤ、カン、作ら、格下、下、ついでにお歴
 々にあいさつして行こう。」
 山下「日本人会長というの、どんな仕事。
 会社の社長さん見たいかね。」
 ○「谷口会長さんの本職は製糸工場の場
 長さんだ。会長は余技見たいなもんさ。
 山下「余技でも、場長で会長となると、ウ
 トウなもんか、どの位のエラサだろ？」
 兵隊の位になおすと。」
 ○「かけねのな、と、将官をな
 山下「や、かり、准將代將級だ。技官が
 下の正規の大將ではない。」 技官が
 ○「中々くわしいんだね、ああ、この方が
 副会長だ。」
 山下「この人、何商売さ、ボクに似て、学
 養満点だ。日本人会という会社はど
 人な仕事しているの、月給松、と、これ
 の？」
 ○「さう、さけ、さけ、物をいうなよ、ボクハ
 ラハラするじやアないか。」
 ○「さうい、わけ、精神薄弱症の天才画伯をッ
 ね、これ、から、病院、実業家、豪家、野
 球マン、名譽領事、青年団、仙教会、生
 長の家、組合、予備後備の老人まで、歴訪
 しました。一寸一版して、又采圓。」

中南米視察議員団御目見得講演 5

九月一日聖市セントロフロソラドパウスタ
で開かれた日本代表議士の結句ルミ中継放送

乏しき祖国

芳賀貢(社党)

北海道生れの芳賀貢です。元東北海道は
植民地の様に思はれて居たもので、北海
道へ移住して来た人は自分の生れたる地
内地と叫んで居ます。今度こちらへ旅行
する事がましますと、多数の方から南
米にこういふ人が居る筈だか、是非会
て貰いたい、手紙と渡して貰いたいとい
う依頼が多々あったので、これは故郷
と音信不通の人が多いことを示すものだ
が、皆々この事は今日に於ては故郷の
人が南米に行つた人のことを忘れていな
い証據で、これはお互いに血がながって
いるからです。南米といふ陸地といふ
つかうい地名を忘れていないのです。日
本は戦争にまけて二四万の人が死んでい
ます。そういう混乱の中にあつて、大元
南米にある同胞のことを忘れてなかつた
この事をどうか信じて頂き度い
扱て分るは今回の旅の方々を通じて未
ました。各地に日本人会があつて、それ
を活動して、今よりも、今よりも四百
五十人位だかアルゼンチンには一万余人
人が居るとまきました。ベノスに参つた
とき日本人会の運動会があつて、ある日本
人に会つて話をしました。祖國の人は三
年四の年にもなるが、祖國の事情が時
を経るに従つて追々深くなるときいて
感慨に打たれました。ひるがえつてアラ
ジルには同胞が五〇万も居るといふこと
です。産業経済の二支柱となつて、この
とは敬意と誇りを感ずるのではありません。
日本移民は想像に絶する苦闘を経て、之に
打ち克ち、三十数年の移住の中に交つ
て勤勉であるといふ批評をさまして、そ
れが外交辞令であつても、ふたりの言辭
ではないと考へるに堪へません。かつ
ての日本民族は海外発展に於ても軍隊
を張れば、軍隊のバックがあれは恐るるに
足らぬといふ間違つた考をもつて居りま
した。武力はよくとも移住者の心算を
で發展できるといふことを、ましまさ
見て深く考へさせるといふことが、帰朝の
後早速と訪したいと思つて居ります。
日本は今や人口八千九百万人、人口が
殖えて困つて居ります。人口同様に深刻
であることをお考へねがいたいのです。
こちらでは子供が八人十人なつかはさつて
十二人以上の子孫者も多く、六十歳を越
えてもまだつくる……笑ひごとくはあり

ません。しかし立派に育つて皆役に立
つからけつこうです。ソノころが日本は子
供が三人もでさると、ソノソロ心配します。
大体一家当り耕作面積が一畝半で北海
道のように余裕のある所でも三、四年は
土が余剰地はない状態であり、人口
農業、職業問題が深刻に人々を悩まして
います。食糧も年々不足で四百万の輸入
をしなければ食生活がまさない状態です。水
田一畝の収穫は概十三三俵、北海道でも
八俵ほどしか、何が何に土地がせまい
ので自給ができません。農業は食糧を
いりて大都会が大都会の移住によ
うといふ傾向を辿つています。東京の人
口は八百五百万あるが北海道全部を八
方です。札幌はその一割強四五万を捉え
て、この様に都会集中を如実に示し
て、この方が労働力と収入の関係が必ずしも
比例して、いさわわわ、相当技術をも
つていても食つていけないのが実情であ
ります。資源の少ない國、国内資源とい
つては石炭以外には乏しいので、皆外国か
らの輸入にまづはかりで、その原料を加
エて再輸出しなければならぬ運命のもの
が、その他の国内事情も誠に一つ
として、樂觀を許すものはないのであります。
日本はアメリカといふ連の勢力競争の中

Adubo Venzenese
ベゼネツキス
よい施肥をして
多收穫！
作物により各種タイプ
有畜農業！ 施肥農法！
ヤラスノツネアリ時代は過ぎたり



特約店 太郎田商店
バス ト ス 市

いよく好評の
シンガ！メン！

月拂いでカンタンに御入手

間に置かれ、世界人類の同情を受けざるを
 場におかれおきす。
 アメリカとソ連の原水爆実験が時々行
 かれていすすが西風が吹いても東風が吹
 いても、その灰をかぶるのです。広島長崎
 では六十万人の人が死んだ。その恐ろしい灰
 を常にかぶつて居ることを皆さん、よく承
 知していただきた度いのであります。
 中南米の貴重なる資料によつて、真剣に
 之と取組み日本人の海外發展に更に道を
 拓きたく考ふる次第ですが、どうか皆さ
 んも困難と逆境を踏み越えろ日本人の心
 血を中にとりて更に立上り擴張していた
 べきです。あなたに祖国のあること、小
 さくて苦んで居る国のあること、思い出
 して頂き度い。戦争をせず平和の爲め
 に盡す日本の前途に協力して頂き度い。
 左伯同胞の九〇%が九州内に居住すると
 さままゝして、此の短かい柱ないの挨拶で
 はありますすが、多くの方々によろしく御
 伝え下さらんことを心から祈つて御挨拶
 と致します。(十七時三十分より約三十分間)

方賀貢氏(社会党)北海道第二区、日本社会党
 政策審議会主査(衆議)当選三回

評 せんがりを勤め、一番真剣にしゃべった
 株主 八十五点 (聞き手)

以上五人の代表士の講演の主旨を御伝え
 しました。聖市の邦字紙の批評は、低調し
 の一言にのみ、これは三年前の七人組の時
 野次が飛んだ。報士が壇上に立往生し
 たりした。ここにかんがひ、多分総領事館あた
 りから親切なご忠告があったので、今夜五人
 組は、お座なり講演に、したためた。このこと
 こそ、敗壞演説ではないから、失言はない限り
 野次は、とびますまい。野次は、なぐともよろしい
 が内容は、貧弱のようでした。どうせ新聞、ラジオ
 で材料は知つて居るので、材料のラベツより
 海外移住者の肺病をつくような話へが、もっと強
 く欲しいところ。またあんなことしか言えない
 のではようね。

ビール

男には男の世界ビール抜く 春歩
 今日の幸 ビールのどどどつ走る 紀園子
 気がかりな会話 或れ居りビールの 和枝
 父よりも母は酒好き 黒ビール 秋扇
 電話待の間のビール五本 水仙子
 ビールくみかわし心ささかり合ふ 北民
 のどほとけおとせ 一氣にビール干す 子工

汎パウリスタ陸上大會出場

經費收支表

収入 合計 一、二一七〇、〇〇也

内 訳

アルト區の皆様より	九〇、〇〇〇
ボルト區の皆様より	一八〇、〇〇〇
カスカツ区男女青年寺園より	一〇〇、〇〇〇
シヤカラ区十八名様より	八一〇、〇〇〇
エスヘンサ区十八名様より	一〇〇、〇〇〇
フルツラ区より	五〇、〇〇〇
カロリア区十一名様より	二〇、〇〇〇
カローリア区三〇名様より	一五、〇〇〇
フロレンス区十七名様より	七九、〇〇〇
オウネ区十八名様より	九一、〇〇〇
ウニオン区十一名様より	四六、〇〇〇
支出 合計 一、一八〇、〇〇也	

ホニイア往復五〇名汽車賃

ホニイアにて食費

イアクリ、追自動車

練習費

薬品代

帰途バス代

通信代

広告費

ホニイア往復五〇名汽車賃	一、五三〇、〇〇
ホニイアにて食費	九七六、五〇〇
イアクリ、追自動車	一、二〇〇、〇〇
練習費	一九五、〇〇〇
薬品代	八〇、〇〇〇
帰途バス代	一七、〇〇〇
通信代	四三、〇〇〇
広告費	五〇、〇〇〇
差引残金	三七〇、〇〇也
残金は陸上部会計に繰越しとす	
一九五六年九月二十三日	
バスト陸上部	
上 西 義 治	
前 山 義 治	
三 野 善 一	

フラ柘原蚕飼育者の集り

去る九月廿二日、フラ柘原蚕製糸サハウ日本
 都より天野支那人來歴をシヤにバストス
 のフラ柘原蚕飼育者十数名を池田市に
 に招き、一泊の御馳走し、その懇談会を開い
 た。一般蚕養家が好成绩を挙げると、其
 するのむ懸って諸氏の双肩にある。養蚕
 家がうさく行けば、フラ柘原蚕も、もうかると
 ある。と、いふわけは、原蚕飼育者は大いに
 責任を買われ、其わけが、普通養蚕一と
 口入十新位なれば、原蚕は、四割増しを、
 悪くなからうと、いふわけは、と、その原蚕
 は責任飼育だから、百スラムの処を、二百
 スラムの処に、いっただ、此ら、百スラム
 の処は、八十スラムにして、完全に、サハ
 とい、いわれるので、中を、はたさ、ヤキモキ
 する程、サハ、かん、す、そこで、慰勞、
 する程、サハ、かん、す、そこで、慰勞、

(no 19) Continuação

SUPPL. PART. II

-Hector Melot-

Coisa Pasmosa, estava deveras amarrado a uma taboa como eu julgara a principio.

- Mem pai, pois não tem, meu filho? perguntou-me a senhora.

- Tenho, mas estou sózinho nesta ocasião.

- Por dois meses.

- Dois meses! Oh! pobre pequenito! como, sozinho assim por tanto tempo, na sua idade!

- Assim é preciso, minha senhora!

- O seu amo obriga-o com certeza a levar-lhe uma certa quantia no fim desses meses?

- Não, minha senhora; não me obriga a nada. Contanto que me possa sustentar o a minha companhia, e o bastante.

- E tem-se podido sustentar até hoje?

- Conte-lhe como tivera de me separar de Vitalis condemnado á prisão por me ter defendido, e como, desde que deixara Toulouse, não pude-ra ganhar um soldo. Enquanto eu falava, Artur brincava com os cães; mas contudo oscutava-me e ouvia o que eu dizia.

- Como devem todos ter fome! exclamou ele!

- Ouvindo esta palavra, que conhecim perfeitamente, os cães puseram a ladrar, e Joli-Coeur a esfregar o ventre com frenesi!

- Oh! mamã, disse Artur. A senhora entendeu esta invocação:

Disse algumas palavras numa lingua estrangeira a uma mulher que estava deitando a cabeça de fora de uma porta meio aberta e loro daí e pou-co esta mulher trouxe uma benguinha servida.

- Sente-se, meu filho, disse-me a senhora.

- Não me fiz de rogado, arrumei a harpa e sentei-me depressa á mesa; os cães collocara-se loro á roda de mim e Joli-Coeur tomou lugar no meu joelho.

- Os seus cães comem pão? perguntou-me Artur. Se comiam pão! Dei a cada um pedago que eles devoraram.

- E o macaco? disse Artur.

Mas não era preciso occupar-nos de Joli-Coeur, porque enquanto eu estava servindo os cães, ele tinha-se apoderado de um bocado de côdea de uma empada com que se dispunha a embutucar-se debaixo da mesa.

Som continuar a falar comigo, Artur voltou-se para a mãe, e trevou-se entre elles uma grande conversa na lingua estrangeira que eu já ouvira; elle parecia pedir uma coisa que ella não estava disposta a ceder ou pelo menos contra a cabeça para mim, pois não me via o corpo.

- Quer ficar conosco? disse elle.

- Olhei para elle sem responder, tanto me surpreendeu essa pergunta.

- Meu filho pergunta-lhe se quer ficar conosco?

- Neste bote!

- Sim, neste bote; o meu filho está doente, os medicos ordenaram que estivesse amarrado a uma tabua, vê. Passeio-o neste barge para elle se não aborrecer. Ficará conosco. Os cães e o macaco darão representações parao Artur, que será o seu publico. E o menino, se meu filho quizer, tocar-nos-á harpa.

Pequei na mão da senhora e beijei-a.

Pareceu comover-se com esta prova de gratidão e passou-me umas poucas de vezes a mão pela testa, afetuosamente, quasi ternamente dizendo:

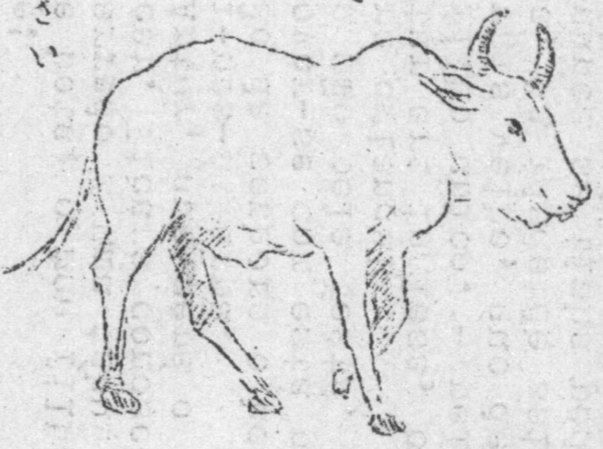
- Pobre criança!

A mãe de Artur era inglesa, chamava-se mrs. Willigan, era viuva e Artur era seu filho unico, -- pelo menos seu unico filho vivo, porque tivera um filho mais velho, que desaparecera em condições misteriosas Essa criança, na idade de seis meses, tinha-se perdido ou tinha sido roubada, e nunca se tinha podido encontrar vestigios dela. E verdade que na occasião disso acontecer, mrs. Willigan não tinha podido fazer as pesquisas necessarias. Tinha o marido e morrer e ella propria estava gravemente doente, sempre em delirio, e não sabendo nada do que se passava em torno dela. Quando melhorou, o marido tinha morrido e o filho desaparecido. Quem dirigira as indagações fóra W. James Willigan seu cunhado. Mas havia tal particularidade em tal escotima; é que W. James Willigan tinha interesse oposto ao da sua cunhada efeitivamente, tendo irmao morrido sem filhos, vinha elle a ser seu herdeiro. As suas pesquisas não tiveram resultado algum; em Inglaterra,

em França, na Belgica, na Alemanha, na Italia, foi impossível o que tinha sido feito da criança desaparecida. Contudo, W. James não herdou do irmao, porque sete meses depois da morte de seu marido, W. James Willigan deu á luz um filho, que era o pequenino Artur. (continua).--

牛 賣ります

乳牛 仔つれ牛
肉牛 犢ビヒーロ



これからパストを始めようと
する方には
特に好条件で
分譲いたします
お遊びがてら
一度牧場へ
見においで下さい

エス・ヘラン
中央区
木林 元武 男
野沢 一 衛

小林會計事務所提供 5

農業登録の心得とその恩典

前承 聖市 京野四郎 (譯)

第十八條 農業者及び牧畜家登録所の登記は、国家生産統計局の農村登記簿に
登録され、農村登記所長は登録の証明書
に署名する権能をもつものである。
○單項 証明書は生産物統計局々長が檢
閲する必要がある。
第十九條 農村登録課々長の檢閲なくし
ては正式登録用紙に登記することが許
されない。
第二十條 登録された農業者や牧畜家は
統計上の必要により報告を要求された
時はその報告をする義務がある。
○單項 もし此の報告を拒否したり又は
沈黙している時は登録無効となり、それ
による特典は停止される。
第二十一條 現在の規則は官報に發表さ
れた日から三十日の期間内に実施され
る。現行規則は一九四九年十一月二十
六日の官報に發表され、一九四九年十
一月二十二日の農務省令七七五号によ
り承認されたものである。

お金を落した方は
ありませんか
九月二十五日朝、パストス組合附近で
生徒が新聞紙片に包んだ金をひろい
ました。心あたりの方は、おいで下
さい
週報社

放れ馬

フーロ 少し赤味がかつた黄毛
背に鞍の形あり普通大
右、九月二十六日朝、パストより出て
しまいました。
もし御バ当りがございましたら御手
数下ら左記へ御通知下さい。
薄謝を呈します。
カスカッタ区五組 垣本
(又は週報社)

備考一

右農業登録保持者には直ちに次の特典
が与えられる。
イ 農林省農具販売委員会 (Comissao
Permanente de Revenda de Material
- Ministerio da Agricultura) へ農具
(トラクタ、灌漑器等) の購入の
優先権があること
ロ 聯邦政府経営の鉄道 (E.F.C.B.
- C.F.O.R. - F.E.S.T.) の五割引の
特典があること。
(近き将来に州議会並に国会を通じて
州営並に私営の鉄道運賃割引を申請
且つ奔走する代議士も出る事と思ふ)
其の他農業一般に対する政府の保証
案が適用される機会が与えられる事
農業者の皆様、ブラジルの廣野に農牧
を営さんと志すならば、連邦政府の与へ
る特典を利用しようではありませんか。
簡單、敏速、無料でお出る農業登録で
す。大いに利用しましょう。

小林會計事務所では

京野農事々務所のリガソン
を以て皆様の便宜を計ります
当事務所のサービスを
御利用下さい

葡語印刷は安くて迅速な
小林印刷所を御利用下さい

ベレアドールに物を訊く 3

去る九月十六日 週報社の催し

前回本田氏の質問に対しニ三返酬の要点を記して見る

西ベレアドール「市議会の姉の小林ベレアドールの提唱によるコペクサーバの税金問題は委員会に於研究中です。バストスの農家は必ず、何れかの組合に関係をして居るので組合と云ふければ市などどうでもよいと云われればそれ迄の話しですが、農家個人々々が必ずの組合との交渉を通じて居るので、ここに組合からの税を納めることは本質的にないことだから、実情を打あけて相談するより手はありませぬ、畑中さんと市長に立てようとする時、組合の方々もアポイアして下さる約束があったのですが、それができないとすると、到底市の運営は成り立たなく存せしめよう、組合の主任さん方に無理解をいたゞくしか方法は無いように思われぬので、学業税家屋税など郡税に関係あるものはバストス産業組合は拂って貰うて御同意を得たいと思つて居ります、正式の税金は付かず、相当額を市に援助して頂く相談なんです、各組合とも本部が聖市にあるので、このカシの話しも中々めんどうなのであります、でも、ヨロシをかんぎする事は必要で、又主任さんが組合員の要望に充てて立ち、本部との交渉にあたってもらうという事も考えられます、

ここで本田雄次、長橋南伯中央組合出張所長の例をとり、本田「長橋さんは既に本部にそういう提訴をされた相だが、バストス又これをう之道を聞くことは困難だとのこと、で此の問題は主任さんだけに重荷を負わすのでなく、委員を挙げて上聖しバストスの事情を訴へるべきではないか、組合だけが大きくなり、バストスが小さくなつて行くのは、同じバストスに住んでいて不合理のように思われ、西ベレアドール「本田さんの言いけんは一才あともわしで私の説明をもう少しつかります、州税の農産委託物販脱税を、この税務署で支払うようにする方法、インボストパーゴの件を、ジレトリアの協力で承認して下されば、出来ぬ相談ではないと思われ、

事務的にはいくらか複雑になるでしょうが、バストスのムジロオを救済する、という話しがあれば、ぜひ相談を、現地と思ひます、この監督さんは、現地納入の話し可能といつています、第一回の金見で木馬さんには相談して見たいのですが、よくごりかい下さつて、何分の援助を約束されました、本田「長橋さんのさきり話しは、こまる立場になるようだ、主任さんの立場が本部との扱はさみになり人よう懇話する、この話しは至難ではないように思ひ、西ベレアドール「君の考へとして、養鶏家のヨロシを述べるといふことが大物と(次頁)

生長の家講演会

去る十月八日 午後七時半
バストス産業組合階上広間にて

橋詰太一 先生(コチア在住者)

の有益且つ興味あるお話しがある
多数の御来聴を歓迎すと、主催者曰
いて居る、勿論入場無料

不二式 自働アミモノ器で

夏のレース編みを



習いませよう
一週間で
責任教授

シネマ館前 梶山米子

寄席合あります

ALBATROZ

Sabão Lava Melhon



よくきのつく おくさんは
おかいもの
ついでにかならず
フラジールの
よい
サボンを
おもとのなさいます

サボン
アルバトロズ

思います。

本田「バストスに住む以上、これを支持

せぬ人はいない」

此の時、会場騒然となり個々に話し出す

人、中には立ち上って組合攻撃の一帯をや

り出す人あり、やむを得ず「今日はザロ

ンの会に非ざる旨」注意する

西ベレアドール「吾々は組合の攻撃論を

してゐるのである、市の財政

面という立場から見るとき、考えねば

なうんという論據から申して居るのです

バストスのような小さなムニシピオでは

財源となるものが生産物課税しかない

その生産物は全部組合扱ひとする

という道を選ぶべきかという深刻な

問題に直面してゐるわけだ

さき程の本田さんのお話しのように本

都へ出かけて懇談も、けつこうです、し

かし心お成功するかどうかは判りませ

ん、もし不幸にして蹴られる、不成功に

終ること予想しておかぬはなりません

まい、で、尋ねられれば幅をとつておいて

右主仕方の理解のもとに採りに解決し

ていかなくはならないと思われませ

一般の方々の考へては、二人とは日

前市長が出たのだから、とえういこと

をすすむらうなと、とんどもない期

待をされる向きもありませうが、今

説明しましたように橋一ッ道路一すじ

の改修にも予算がないのに、何程のこ

とがござませう、今はロンドンで時

なく、レインケンに考へても、ちう時期で

小林ベレアドール「賣上税は州の収入で

この内三割は戻しがあることになつ

て居ます、しかしこれだと元戻つて

くるにしても本年度の税金は二事も先

きというわけでは、忽ちの役に立ませ

ん、バストス産業組合は地元の、から

部会がよく、既に五〇コント市役所へ納

付してゐます、かりに七つの組合が郡

税を何かの名目で五〇コント宛市へ納

めてくれても三〇〇コント余合り収入

にはなるが、それだけでは足りません

もし今バストスの生産物売上を八万コ

ント乃至十万コントとして計算します

とこの一%を市に臨時にアウシリオレ

て下されば一千コントが大いに役目を

家事の都合で賣り度し

モトール (オリヨクルー八馬力)

○ 示フリヤドール 一台 カッパシタ

○ ミーリヨ 一日百五十俵

○ 其の他 キレエラ 其の他

○ アロイス 大 豆

○ トラットール 一台

○ カロツサ ゴム輪 一台

○ カバーロ 一頭

右至急賣り度し 委細面談

カスカッタ区 (町より四キロ)

石田



かきしぶ 高血圧予防

松の苗 ボンサイと庭園樹

アルト 西柿園

発効は大変速かです、只よくご了解を

得たいのは、全く市の財政が何とか目

鼻のつく道の間のアウシリオヨである

ことでは、従つて、この金の使途につ

いては、市会ギインの外に、ちうからで

もその他の方面からでも有力な人達へ

日本人でけつこうです) を入れて特別

委員会を作り、その意見に従つて使途

を定める組織にしたいと考へます、道

路修理、橋梁架設、となりますと、材

料はともかく完全なトラットールがなく

ては仕事も出来ず、耕地にとつては

一日も放任できな、重要性のある問題

なので、

本田「今日はいろいろと市の施政方針と

かその他、このさいの問題を、おききしよ

うと思つたが、こんな重大問題がど

出てしまつて、こりやとせも今日中

に結論を出すなと思ひもようんことに

なつてしまつた、

前山「大問題だ、農家の為めになる事を

優先的にやるというのなら、各各で座

談会を開くことな、重要な方法をどう

を音、いろいろ、大事なお話しが、きけて大

へん救護がありました、この確しは今

回だけなく、市当局と市民の意見交

25-101-2

バストスの土地は

手放ささない

谷中清次郎氏の場合

ウニオン工區谷中清次郎氏は北海道
小樽の出身で、昭和五年十二月初旬入植
した。いわゆる千八百円供託組の直末移
成で、先日久しぶりに前を連ったか
らといつて私方を訪問されたが七十四才
とは見えない程元気で、入植当時の苦心歎
を想ひ出し、あれこれと話し出した。
谷中さんは男の子はかり五人ある。戸
籍調べをするわけではないが、この話に
関係があるの一寸ばかり並べて見ると
長男 正太郎氏(45) バラナコゴゴテ現在
次男 唯文氏(38) バストス在住
三男 正文氏(35) マリンが市在住
四男 修氏(30) 〃
五男 昭氏(27) ウライ市在住
さつと、こんな有様。長男次男の外は商業
方面に志し、三、四男の二人は早く出立、バ
ル、パサールなどを經營していたが、ハラ
ナ方面に将来性を察見して、数年前コリン
ガに進出、とん／＼と拍手に当って、今では
コリンガの少壮商人として推して押され
もせぬ。世ぶり、長男正太郎氏は数年前
近シヨラマ「リヨ」に入植し、相当儲けたが不
幸にも妻女が大病となり、出立して大手街
の結果一命はとりとめたが、爾来労働に堪
えなく、なり、一昨年転業してウライ、サン
ヌマリアの中間コンゴニア駅で商業に従
事して居るとの事。五男の昭さんは、フア
ルセウケコを志し、バストス、オケルヌの
佐々木葉高等に於て専心勉強の結果一人
前となり、四年程前ウライに開業して、い
でこれら他地方へ進出した兄弟の歩ん
た道は、若くは彼ら兄弟の意志で、経済的に
は何ら親を煩わしてはいない。いは、獨自
の道を拓き、ついでにわけて、処が次男の
唯文氏だけは、たん／＼年を置いてゆく。兩
親を、他の兄弟に代って看とる後目を引
受け、父の買った土地を、そのまま子リッ
とけにしている。彼には彼らしい青春飛躍の
夢もあつた。そのうちあるが、よく他の兄弟
まゝして後顧の憂なからしめ、両親は引受
けた。安心して自分たちの道に邁進せよ
と勵ますことによつて、自分の天職を全う
する。格道には、いつていつたことは、之れ亦
物質以上の大きな收穫でなく、はなはだ
い。七年前唯文氏は、母堂をたたり、(當時
62)を見送った。今はたゞ一人の父、清
次郎さん、身体が大切にして居るが、この清次
郎さん、身体がたゞ、いかなので、年中大
半ハラナ方面に遊びに出かける。そして

老を養い、老を樂しむという樂隠居であ
る。子供が皆よくしてくれるので、実にあ
りがたいと思つて居ると、うれし相に言ふ
清次郎さんである。ここに吾々が考えた
いことは、谷中氏一家の兄弟が、何れも真
面目で、不義実行の徒であること、親の才
覚を店を用いたりにしたものでないこと、
又親は何れも子の行動に掣肘を加へないこ
と、という自然の行方、ムリをしな
い。かり方が今日の實を結んで居るのではな
いかと云ふ点である。
谷中老にとつてバストスは、眞のオニの
故郷である。ここに帰つては手足のほ
すことのできる家のあること、何物にも
かえがたいよみ、こびにちがいない。子
を、これだけの才能に、たいて他に転進せし
め、独自の運命を同指させる事は、大功であ
るが、バストスの土地まで手放してしま
う。やリ方は、慙心しない。悠々たる人生！
土地が生んでくれる利子で、子弟の好む
道へ！ 元を失つてはいけないう話。

ニチヨウガッコウ
日曜学校
エンケイ大會
来る十月二十八日 子供ばかりのエン
ケイ会を催します。これは、ナールのの
ソレセンラの費用を作る為めです。
何卒御協力と御期待をおよせ下さい
場所は産業會館又は、シネマ館
主催 聖母婦人會

Nossa Relojoaria
Av. TAMOIOS 785
TUPÃ
Escolha as suas alianças
時計 貴金屬 指輪
のホホのは
最も信用ある
ワパンの
時計店
サボンジ
ノッサ時計店
ワパン市 アベニムタモヨセ八五

一金五百針也
右は当劇團の飛躍に備え御奇贈下さい
ました。ありがたく御礼申上ります
バストス劇團會計
坂本 真吾
ポンフィン區 御中

御案内

来る十一月一、二日は伯国の慰霊祭で
 ございますから、バスター墓地の前
 へ**梵真寺出張所**を設けます。
 墓前の讀經を希望せらるる御方は
 何卒御申下さい

○講演とケントウ映写

一日、二日とも 夜八時より布教所に
 於て講演及ケントウ映写を催します
 からお誘い合せ御参詣下さいませ
 御案内申上ります

梵真寺 布教所

ソルベツテ

氷菓子滴り 話続きをり

心なき世辞をさきつゝ氷菓子

葡語と有る恋は氣輕く氷菓子

紀南子

きく子

春歩

植木盆栽展覧会
 の相談會 開催

去る八月五日、本誌三三〇号で植木盆
 栽展覧会を、やったりどうだろと
 発表しましたら、反響があつて、せ
 ひやりたいと、いう方が多々ある様
 様です。
 それでとりあえず第一回の相談會を
 催すことになりました。
 左記お含みの上御出席下さい

日時 来る十月十四日(第二日曜日)

正午より

植木盆栽展覧会開催に因り相談

本会合には会費を要せず

出席資格 盆栽愛好者ならばど
 なたでも可

場所 バスター週報社裏サロン

主催 後称 バスター盆栽同好会

コブリンコ 移植民會社

貴家の将来に備えて、北パラナ最後に残されたハルミタール地帯

セーラドスドラーノの国際植民地
 コブリンコ C.N.A. のロッテを御購入あれ

弊社の誇る十大要素

- 1 地味肥沃 總面積三万A. 標高五五〇米 萬作に適す
- 2 地権確実 ロヤル登記所登録絶対確実
- 3 組織強火 資本金三十万ヨリス 各地ブラジロネススコット銀行取扱
- 4 交通至便 クルゴロより四イロ、毎日オニバス 往復
- 5 設備完備 学校病院、旅館、ホスト、カシエイワー
- 6 支拂条件容易 アルケル一六三三 30% 25% 20% 買払
- 7 地区割完全
- 8 健康地帯
- 9 視察便利
- 10 地代廉価

○一度御視察をせよ

いつでも御案内
 いたします

Compania Brasileira imigração Colonização
COBRIMCO
 Osc. Rua 15 de Novembro 233 8º AND. S. Paulo



代理人

東 利 徳
 阿 部 二 郎

C.P 45
 Bastos

25-10-55